

公益財団法人うつのみや文化創造財団 中期経営計画評価表（平成30年度実績）

平成31年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市明保野町7番66号			設立年月	平成21年4月
市所管課	教育委員会事務局 文化課			代表者	理事長 篠塚 茂夫
ホームページアドレス	http://uacf.jp/				
基本財産（資本金）	110,000千円	主な出資者		出資額	出資割合
		-		-	-
	市出資額	110,000千円	-		-
市出資割合	100.0%	-		-	-
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を育成・支援することにより、魅力ある市民文化の創造を図り、地域文化の振興に寄与する。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の文化芸術振興事業 ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の管理運営事業 ・その目的を達成するために必要な事業（プレイガイド事業など） 				
公益目的事業比率（公益法人のみ）	83.0%				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員（フルタイム）	28	0	嘱託職員	15	0
非常勤	監事	0	0		再雇用職員（パートタイム）	4	0	再雇用職員（短時間）	0	0
	理事	11	1		派遣等職員	0	0	臨時職員等（アルバイト等含む）	1	0
監事	2	0		市以外	0	0	市OB職員			
計		14	2		計	34	1	計	16	0
役員の平均年齢（歳）	66.8	役員の平均年収（千円）	-	情報公開制度の有無		0				
職員の平均年齢（歳）	43.6	職員の平均年収（千円）	6,067	個人情報保護体制の有無		0				

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
資産	921,699	958,084	934,111	954,496	
負債	340,786	369,959	339,858	361,551	
	(うち損失補償等額)	0	0	0	0
純資産	580,913	588,125	594,253	592,945	
	(うち利益剰余金)	471,571	478,885	485,114	483,906

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算	備考
総収入	907,040	740,513	918,007	890,733	
	(うち市補助金等)	126,879	50,396	75,896	76,175
	(うち市委託料等)	634,593	642,132	673,640	637,977
経常損益	10,024	7,395	6,310	△ 1,126	
当期損益	11,030	7,314	6,229	△ 1,208	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
1	公益目的事業比率の維持	31年度末 50%以上	82.0%	84.4%	84.7%	83.0%	83.0%	
2	自主・受託事業の充実	31年度 93事業を実施	91事業	112事業	107事業	123事業	126事業	
3	効果的・効率的な施設の管理	31年度利用者数・観覧者数合計58万人	利用者・観覧者数57.5万人	利用者・観覧者数22.5万人	観覧者数13.6万人	利用者・観覧者数57.6万人	利用者・観覧者数57.9万人	
4	文化芸術発信事業	31年度2事業を実施・継続	1事業	3事業	3事業	3事業	2事業	
5	周年・リニューアルオープン記念等の事業の実施	28年度実施 29年度実施調査・研究	開催準備	開催準備	6事業	23事業	開催準備	
6	教育普及事業等の充実	31年度31事業を実施・継続	25事業	48事業	51事業	43事業	42事業	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
7	地域連携事業の実施	31年度9事業を実施	8事業	12事業	6事業	5事業	7事業	
8	文化会館、美術館以外の館外での事業の実施	31年度8事業を実施	5事業	29事業	64事業	21事業	25事業	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
9 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	75,111千円	126,879千円	50,396千円	75,896千円	76,175千円	
10 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	継続的な見直し	676,986千円	634,593千円	642,132千円	673,640千円	637,977千円	
11	財団保有財産の適正化	継続的な見直し	適正化	→	→	→	→	
12	特定外収入の増収（国庫補助の獲得）	継続的な実施	4,500千円	無	無	無	無	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
13 (共)	常勤役員数の適正化	継続的な見直し	31人体制	32人体制	33人体制	32人体制	32人体制	
14	職員の資質の向上と育成	研修内容の充実 31年度取得資格18種	総資格数18種	総資格数20種	総資格数20種	総資格数19種	総資格数20種	

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
15	施設の適切な維持管理	早期予算化による実施	小規模な故障・破損が発生	大規模改修工事の実施	大規模改修工事の実施	大規模改修工事後の不具合の修繕	大規模改修工事後の不具合の修繕	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】 当財団の事務局、文化会館及び美術館は、各部署が互いに連携を図りながら積極的に各種文化振興事業に取り組み、次代の担い手である若者向けのワークショップ等の充実を図るなど、魅力ある市民文化の創造と地域文化芸術の振興に大きく寄与した。 事務局においては、財団の自主財源の確保、各部署の適正な人員配置など、より一層の経営基盤と組織体制の強化を図った。 文化会館においては、大規模改修工事に伴う音響効果が格段に良くなったとの評価のもと、「シュトゥットガルト室内管弦楽団」「東京フィルハーモニー交響楽団」演奏会を実施し、多くのお客様から好評を頂いた。教育普及事業では、「邦楽を知る」などワークショップ等を数多く実施し、多くの事業において目標入場者数を上回るなど、次代の文化振興の担い手づくりに取り組んだ。 美術館においては、企画展の実施にあたり幅広いジャンルからバランスのとれた構成とし、ほぼ全ての企画展で目標観覧者数を上回ることが出来た。特に、「第5回宇都宮美術の現在展」では、宇都宮市ゆかりの現代美術家による作品を取り上げることににより、多くの市民の皆様が現代美術家の活躍を知っていただく機会となった。教育普及事業の美術講座においては、宇都宮出身でロシア学者である亀山郁夫氏を招き、「ショスタコーヴィチ 引き裂かれた栄光」の講演会を実施し、目標数を超える多くの参加者にご来場頂いた。</p> <p>【今後の課題】 ・教育普及事業の参加者が、今後更に文化芸術に造詣を深め、次代の担い手として数多く活躍できるための仕掛けづくりが必要である。</p>
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】 各事業については、財団の持つ専門性やノウハウを活かし、計画どおり積極的な事業展開が図られるとともに、財団事務局を中心に組織運営の見直しや効率化を進め、自律的かつ持続的な財団運営に努めている。また、財団の自主事業・受託事業だけでなく、本市のジュニア芸術祭20周年記念事業やエスペール賞の選考などにおいて、積極的にノウハウの提供や協力を行い、本市の文化振興事業に寄与した。 事務局においては、市民センター出前寄席などの自主事業や「ふれあい文化教室」などの本市と連携した市民文化の創造と振興を図る事業などを効果的に実施したほか、財団ホームページの充実を図り、本市エスペール賞の歴代受賞者を紹介するなど、文化芸術情報の発信強化に努めた。また、財団の「中期経営計画」や「指定管理事業計画」の具現化を図るため、「財団版事業実施計画（令和元年～令和3年度）」を作成するとともに、新たに「財団人材育成基本方針」を作成するなど、将来に向けた持続的な運営体制づくりに努めた。 文化会館においては、大規模改修工事に伴うホールの音響性能の向上が体感できる「シュトゥットガルト室内管弦楽団」や「東京フィルハーモニー交響楽団」の演奏会を開催したほか、教育普及事業として「中・高生演劇ワークショップ」など効果的に事業を実施し、多くの事業において目標入場者数を上回った。また、施設利用者数については、50万人を超え、多くの市民等に利用していただくことができた。 美術館においては、企画展として、大型ポートレート写真による「篠山紀信展 写真力」や本市にゆかりがある現役美術家の作品を紹介する「第5回宇都宮美術の現在展」など6回開催し、幅広いジャンルの美術作品を多くの方に観覧していただくことができた。また、小学生を対象に市有バスを活用した「美術館訪問鑑賞事業」を開始するなど、新たな手法で来館者の拡大に取り組んだ。</p> <p>【今後の課題】 ・財団の自律的かつ持続的な運営に向けた計画的な職員の採用及び人材育成 ・財団事務局を核とした組織経営や内部統治の強化の推進 ・積極的な自主財源の確保に向けた具体的な取組の実施 ・財団のスケールメリットを生かした市民全体に波及する事業実施や市民の文化活動への支援・強化 ・文化会館40周年（2020年）や美術館25周年（2022年）の好機を活かした魅力ある事業展開</p>